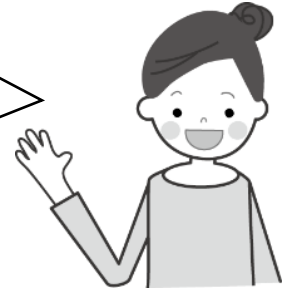


「Rびん返却実態調査アンケート」結果報告

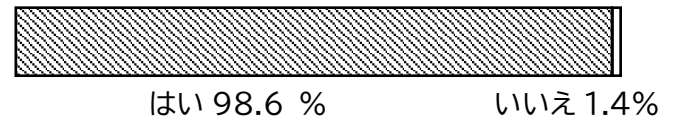
使って返して生かそうRびん！

4月に行った「Rびん返却実態調査アンケート」にご協力ありがとうございました。
環境委員会では皆さんから返ってきた回答を集計してまとめました。集計結果やRびんに対する皆さんの意見や疑問を紹介します。

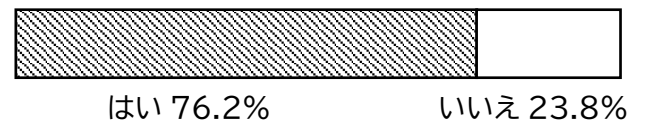
配布枚数 15,600 枚（全組合員）、
返却枚数 3,943 枚でした。
たくさんの回答ありがとうございました！



生活クラブには「Rびん」というリユースびんを使っている消費材があり、中身を使い終わった空のRびんを配送便で回収していることを知っていますか。



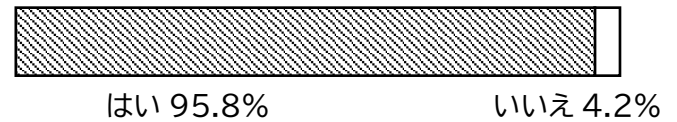
消費材の入ったポリ袋(ピッキング袋)、びん牛乳のキャップとサイドスコープを回収していることを知っていますか。



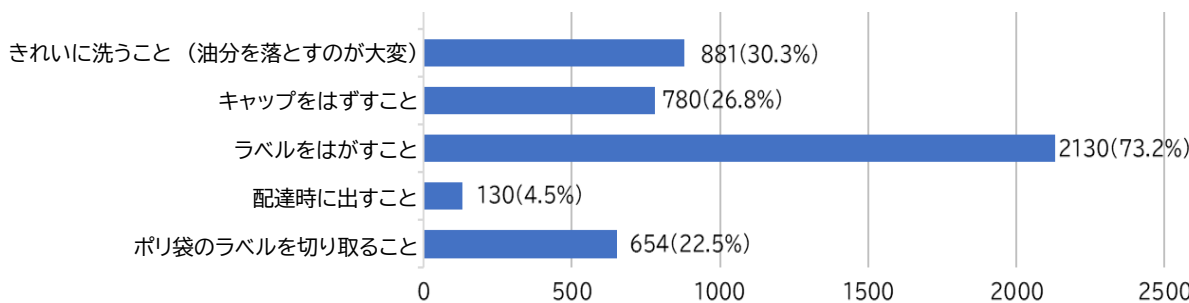
返却方法(配送便で返すこと)は知っていますか。

※Rびんは中身を使って空になったら配送便で生活クラブに返してください。

消費材が入ってきたコンテナや発泡スチロールの保冷ボックスに入れて返してね



また、「Rびんを返却する時に面倒なこと、困ることは？」という質問に対する回答は以下のような結果になりました。



みんな同じようなことで悩んでいるのね…。でも工夫したらクリアできることもあるわ。

困ることの一番は「ラベルをはがすこと」

⇒アンケートでは、ラベルがきれいにはがれなかったRびんは生協に返さず自治体の回収に出してしまっているという人も…。ラベルの素材や糊に関しては生産者や生協、洗びん業者でも協議していますが、生産者ごとの生産ラインの事情もあり、なかなかすぐには解決できない問題です。はがしきれないラベルは洗びん工場では除去しています。ラベルは水やお湯につけておくとはがしやすくなりますが、きれいにはがれていなくても、必ず生活クラブに返却してください。

「キャップをはずすこと」

⇒うまくキャップがはずせない時は、キャップ部分をしばらくお湯につけて柔らかくするとうまくいきますよ。
もしキャップがちぎれて一部残ってしまっても、そのまま生活クラブに返却してください。無理にとろうとして口の部分にキズがつくとリユースできなくなってしまいます。

牛乳キャップとサイドスコープも、回収してリサイクルしています。ノンホモ牛乳のキャップ、サイドスコープも回収しています。
回収した牛乳キャップ5個で「ごみ袋(L)」(再生原料6割使用)が1枚作れます。牛乳キャップを出した人が、それを原料にしたごみ袋を利用することができるのは、生活クラブだけのオリジナル。牛乳キャップ1個をリサイクルすると、CO2排出量を約11g削減します。

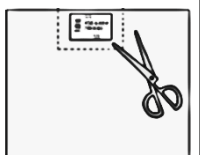
「きれいに洗うこと(油分を落とすのが大変)」

⇒洗びん工場ではお湯と薬剤を使って、次にまた使えるようにびんの内外の汚れをきれいに洗浄します。家庭から生活クラブに返す時点で完全にきれいになっていなくても大丈夫。
それより汚れを取ろうとして固いブラシやタワシでゴシゴシこすつてびんをキズつけてしまうと、そのびんはリユースできなくなってしまいます。繰り返し使うためにびんはやさしく扱ってね。

「ポリ袋のラベルを切り取ること」

⇒回収されたポリ袋はリサイクルされます。ラベルの紙や糊が袋に残っているとリサイクルする時に不純物となってしまいます。必ず切り取ってください。手でちぎっても、はさみで切り取ってもOKです。

※回収している袋は野菜セットの取っ手付きの物や消費材がまとめて入っているシャワシャワした半透明の袋のみです。雑貨が入っている透明の袋は回収していないので、返さないでください。



Rびん・キャップ・ピッキング袋をみんなで返そう！
大切な資源を循環させてごみを削減！
さらにCO₂の排出も減らしています。